



文京区若者計画策定に係る  
意見聴取イベント

文京若者meeting!



事業報告書

2025年7月

**【イベントタイトル】**

文京区若者計画策定に係る意見聴取イベント  
「文京若者meeting！」

**【目的】**

ワークショップを実施することで、若者の「望むまちの姿」を把握し、  
(仮称)若者計画に記載する「若者支援施策の主要項目とその方向性」を定める。

**【開催日時】**

1回目：令和7年6月10日（火）19：00～21：00  
2回目：令和7年6月14日（土）14：00～16：00

**【開催場所】**

オンライン（事前予約制）

配信会場は下記会議室

1回目：文京シビックセンター5階 区民会議室A  
2回目：文京シビックセンター12階 1201会議室

**【参加対象】**

文京区に在住の19歳～39歳

**【定員】**

各回20名

**【参加者数】**

1回目：5名（応募者9名）  
2回目：7名（応募者9名）

## 【プログラム内容】

## 1 オープニング

ファシリテーターと参加者の自己紹介

## 2 若者調査の結果報告

文京区から若者の生活と意識に関する調査（以下「若者調査」という。）の結果を基に、若者支援の現状について説明

## 3 調査結果の感想

2の調査結果から、参加者が気になるテーマを2つ決定

## 4 トークテーマ①についての意見交換

3で決定したテーマについて参加者同士で話し合い

## 5 トークテーマ②についての意見交換

## 6 「文京区の理想の未来」30秒トーク

文京区の理想の未来について各参加者から発表

## 7 全体のまとめ

意見交換のまとめ等をファシリテーターから共有

## 【タイムスケジュール】

No.	内容	担当・登壇者	所要時間
1	オープニング	ファシリテーター・参加者	15分
2	若者調査の結果報告	文京区	10分
3	調査結果の感想	参加者・ファシリテーター	15分
4	トークテーマ①	参加者・ファシリテーター	30分
5	トークテーマ②	参加者・ファシリテーター	30分
6	「文京区の理想の未来」 30秒トーク	参加者・ファシリテーター	15分
7	全体のまとめ	ファシリテーター	5分

## 杉山 大樹 (すぎやま だいき)

フリーランスのファシリテーター・編集者  
イベントディレクター  
NPO法人おりがみ副理事長



東京大学在学中からフリーランスとして独立後にかけて、ファシリテーター及びワークショップデザイナーとしては、教育現場で授業を企画し、参加者を巻き込んで気づきを与える場づくりをしている。イベントやパネルディスカッション、企業での研修、議論折衝の場も、企画から実行までを担当。経営層を中心としたオーダーメイドの研修プログラムを実施。気づきをもたらす場づくりと、研修実施のためのプロジェクトマネジメントを行う。

### 【プロフィール】

1993年生まれ。大学時代にオンラインメディアを立ち上げる。

高校時代、演劇部での脚本と演出家の経験を活かし漫才サークルを立ち上げる。オンラインメディア「UmeeT」を立ち上げ初代編集長を担当。休学中に京大のオンラインメディアやNHKのオリンピック広報サイトの若者向けページ立ち上げも行う。

大学を卒業後はフリーランスに。ファシリテーターの仕事を中心に活動し「掛川教育フェス2019」の企画等の仕事を手掛ける。新卒フリーランスから社員に転職。一般社団法人RCFにて、「社会事業コーディネーター」として勤務を開始。行政・企業・NPOなど多様なセクターを調整し、座組みを作って動かす仕事を行う。会社勤務と同時にフリーランスの活動も継続。RCFに週4日勤務。残りの3日はファシリテーターを務めたり、プログラミングスクールに関わったりする活動を継続。やりたいことや得意なことを継続しながら様々なチャンスに巡り合い、現在も活躍中。

### 【実績】

- ・イケダハヤト×箕輪厚介対談in掛川
- ・対談イベント@パナソニックセンター東京
- ・キャラバン・ストリングス掛川ツアー ワークショップ企画
- ・東京モーターショー2019 10代未来会議
- ・Tech×Public Affairs: 社会課題解決のためのルールメイキング、インプロ/コミュニケーションワークショップ
- ・日本財団高校生みらいラボ 等

## 【進行の雰囲気・特徴】

本ワークショップでは、段階的に信頼関係が構築されていくプロセスを意識しながら進行を行った。開始時点では参加者同士の関係性は希薄であったが、ファシリテーターの工夫により、以下のような心理的な変化・雰囲気の変化が見られた。

### ★ステップ1：緊張と探り合い（オープニング）

オンライン特有の「沈黙」や「様子見」の雰囲気があったが、ファシリテーターがリラックスした語り口で進行。軽いアイスブレイク（参加理由やお気に入りの場所など）を通じて、笑顔やリアクションが見られ始めた。

### ★ステップ2：共感のきっかけ（調査結果の感想）

若者調査の結果に対する「驚き」や「納得」といった反応を通じて、共通点を感じ始める。「自分だけじゃなかったんだ」といった声が出て、安心感が生まれる場面も。

### ★ステップ3：活発な対話（トークテーマ①②についての意見交換）

文京区の魅力・課題について、個人の体験や地域との関わりを共有。「それ分かる！」という相づちが増え、自然なうなずきや笑顔のやりとりが活発に。

### ★ステップ4：未来への意見共有（「文京区の理想の未来」30秒トーク）

「こんなまちになったらいいな」「こういう場があったら若者も定着しやすい」という前向きなビジョンの共有が生まれた。話し合いの最後には「次もまたこういう機会があれば参加したい」といった声も複数あった。

### ★ファシリテーターの関わり

話しやすい雰囲気をつくるために、話題の振り方、共感のリアクション、発言の拾い方に工夫を凝らした。否定的な意見も丁寧に受け止め、「建設的な提案」へと導くように心がけた。

## 【使用ツール】

### 1 ビデオ会議ツール

#### ▶ Zoom

用途：全体進行、意見交換、画面共有、チャット

### 2 スライド・プレゼン資料共有

#### ▶ PowerPoint

用途：進行プログラム、若者調査の結果の表示

### 3 アンケート

#### ▶ LoGoフォーム（WEBフォーム）

用途：参加者アンケート

6月10日（火）19:00～21:00

【調査結果の感想】

- ・文京区はイメージが良く住みたいまちだが、物件が高い。
- ・家庭を持つと住み続けるのが難しい。
- ・社会活動への参加機会が少ない。
- ・不動産価格が適正でなく、住み続けられない現状がある。
- ・地域コミュニティを知る機会や相談場所がわからない。
- ・永住希望と地域コミュニティへの関心が高い。
- ・一人暮らしの家賃が高く、地価の高さが問題。
- ・神輿を担ぎたいが相談先がわからない。
- ・世帯年収の金額に驚きがあった。
- ・永住希望と現実のギャップを感じている。
- ・町会などの地域の仕組みがわかりにくい。
- ・近くに頼れるコミュニティがあればよい。
- ・孤独や人生に悩む人の属性や悩みが気になる。

トークテーマの選定

永住

社会参加活動

## 「永住」について

## 【課題（現状の問題点）】

## 若者・子育て世代の居場所が狭い

- ・高齢者優遇の印象が強く（例：B-ぐる、施設）、若者が肩身の狭さを感じている。
- ・社会的弱者（妊婦など）への支援が不足している。

## 地価高騰と住民層の偏り

- ・人気小学校（3S1K）への集中による学区域バブル→地価上昇
- ・外国人・富裕層の流入により、庶民が住みにくい街になりつつある。
- ・「この学校に通わせたい」という理由で学区域が選ばれ、地価と人口構成に偏り。

## 行政政策への不信感

- ・富裕層や外国人が増えることで、区としては「現状維持」で十分と見なされ、政策に力が入らない。
- ・結果として、若者・子育て世代にとって不公平感（ダブルスタンダード）がある。

## 地域コミュニティの希薄さ

- ・人の流動性が高く、長く住む人同士のつながりや地域ネットワークが築きにくい。

## 永住への不安

- ・子どもが成人した後や定年退職後も文京区に住み続けられるかという将来への不安。

## 【魅力（ポジティブに捉えられている点）】

## 教育・文化的資本の高さ

- ・教育に力を入れており、子育て環境として優れている。
- ・子どもに多様な経験をさせられる文化資本がある。

## 住環境の良さ

- ・街がきれい（道が広く、清掃が行き届いている）。
- ・治安が良く、安心して暮らせる。
- ・播磨坂など魅力的な場所がある。
- ・都心へのアクセスが良く、利便性が高い。

## 行政の姿勢

- ・教育ブランディングを進めつつ、今回のように若者の声を聞こうとする姿勢に希望を感じる。

## 【アイデア（課題に対する提案・示唆）】

## 世代間バランスの見直し

- ・高齢者だけでなく、若者や子育て層、妊婦など社会的弱者にも等しく配慮した政策設計が必要。

## 住宅政策の工夫

- ・多様な所得層が住めるよう、公営・中所得向け住宅の整備、学区域制度の柔軟化を検討。

## 公平な教育資源の分配

- ・一部の人気校に偏らないよう、教育の質を全体的に底上げする工夫。

## 地域コミュニティの再構築

- ・人の流動性がある中でも、つながりが生まれるしくみや場づくりを推進。

## 将来設計に配慮したまちづくり

- ・ライフステージに応じた支援（シニア・子育て後の生活など）を含めた「継続居住」前提の都市設計。

## 「社会参加活動」について

## 【課題（現状の問題点）】

## 成人以降の参加機会の減少

- ・小学生時代には祭りや町内会ツアーなどがあったが、成長するにつれ社会との関わりの場が減少。

## 地域活動の担い手の偏り

- ・町内会などの運営が高齢者に偏っており、若者・中堅世代が入りづらい。
- ・世代を超えたつながりが希薄になりがち。

## 地域活動の情報が得にくい

- ・どんな活動があるかが見えづらい。
- ・町会費の使い道などが不透明で、参加・協力へのモチベーションにつながりにくい。

## 地域コミュニティへの温度差

- ・プライベート尊重の風潮が強い中で、地域コミュニティを求めている人とそうでない人の差が大きく、関わり方のバランスが難しい。

## 孤立感・孤独の問題

- ・地元を離れて住んでいる人ほど孤独を感じやすい。

## 【魅力（ポジティブに捉えられている点）】

## 対面でのつながりの価値

- ・オンラインが主流の中で、対面で会うことに価値を感じる人が多い。
- ・実際に「このイベントもオンラインより対面で良かった」との声も。

## 選択的な関わり方の可能性

- ・長期的な関わりよりも「単発イベント」で気軽につながれる方が、今の時代に合っている。
- ・顔ぶれが変わることで刺激もあり、しがらみが少なく関係を築ける。

## 目的を絞ったイベントの効果

- ・対象者を明確にすることで、参加者にとって「自分事」として感じやすく、参加動機につながる。

## 【アイデア（課題に対する提案・示唆）】

## 若者や中高生向けの居場所づくり

- ・中高生のための団体や拠点づくりを進める。

## 世代別・テーマ別コミュニティの支援

- ・若い世代が関わりやすい町内会やイベントの仕組みづくり。

## 情報発信の強化・見える化

- ・活動やイベント情報を検索しやすく整理したまとめサイトやプラットフォームを整備。
- ・町会費など地域資源の使い道の「見える化」で信頼と関心を高める。

## 多様な関わり方を許容するしくみ

- ・長期ではなく、単発・短期参加型のイベントを増やすことで、より多くの人に参加しやすくなる。

## マッチング支援の強化

- ・「参加したい人」と「来てほしい人」をつなぐプラットフォームを区がサポート。
- ・区内NPO法人同士や、関心層の交流促進も面白いという声。

## 空間を活かした活動

- ・「道が広い」という文京区の特徴を活かし、オープンな空間でのフェス開催など新しいスタイルの交流を提案。

## 「文京区の理想の未来」について

- ・子どもたちが明るい未来を歩いていける街
- ・住んでいる人に魅力を感じている、そんな方達とたくさん交流し合える街
- ・開かれた街、高所得層だけじゃない街、閉鎖的な空間にならない街
- ・挨拶＋一言が当たり前になる街（人と人のつながりを大事に）
- ・文化資産を大事に、みんながご近所さんの繋がりを持てる過ごしやすい街

## 【配信会場の様子】



6月14日（土）14:00～16:00

### 【調査結果の感想】

- ・ 経済的格差はあまり感じてこなかったもので、今回の結果は意外だった。
- ・ 文京区では子どもを2～3人育てるのは、家の広さなどで大変そう。
- ・ 賃貸が高く、住み始めの頃は赤字が続いていた。今も貯蓄が難しい。
- ・ 一馬力の家庭では生活が厳しく、経済的に大変。
- ・ 高所得者が多い一方で、子どもが少ないことが気になった。
- ・ 家賃が高く、家が狭いため、少子化につながっていると感じた。
- ・ 文京区全体で物理的に面積が狭く、公園も混雑している。
- ・ 外国人に対する懸念が広がっているように感じる。
- ・ 幸せを感じる人が多い一方で、孤独を感じる人もおり、差が気になった。
- ・ 高齢者も交えた「サードプレイス」のような居場所づくりが必要だと感じた。
- ・ 孤独を感じる人がいるため、地域コミュニティを築く必要を感じた。
- ・ 社会とのつながりが少ない点が気になった。
- ・ 永住希望が9割もあることに驚いた。
- ・ 永住希望が多いが、不満は本当はないのか気になった。

## トークテーマの選定

経済的格差

コミュニティ

## 「経済的格差」について

## 【課題（現状の問題点）】

## 共働き前提の制度設計に対する疑問

- ・国レベルでは「ダブルインカム（共働き）」が基本となっており、片働き世帯にとっては生計が立てづらい。

## 住宅費や固定費の高さ

- ・生活における固定費（特に住宅費）が高く、若年層や子育て世代にとって経済的な負担が大きい。

## 子どもの自然増が進まない

- ・高所得者が多く住む一方で、子どもが増えていない。将来的な人口構造への不安がある。

## 地域の持続性に不安

- ・若年層の流出や、大学卒業後に地域を離れる人が多く、定住者として根づかない。
- ・区としてどの層に住んでほしいのか、ビジョンが見えづらい。

## 問題・解決策の議論への抵抗感

- ・「問題点や解決策を語り合うこと自体が嫌だ」という心理的な壁がある。

## 【魅力（ポジティブに捉えられている点）】

## 都心へのアクセスの良さ

- ・通勤・通学の便が良く、住む場所としての利便性が高い。

## 若者向けの政策の効果

- ・例えば「PayPayキャンペーン」は、若者世代にとって好意的に受け止められている。

## 【アイデア（課題に対する提案・示唆）】

## 片働きでも生活できる支援制度の導入

- ・自治体レベルで、共働きでなくても安心して暮らせるような生活支援・制度設計を行う。

## 「働きたい人が働ける」環境づくり

- ・働き手自身の希望や状況に合わせた柔軟な就労支援を整える。

## 住宅政策による固定費の削減

- ・家賃補助、地域内賃貸支援、若者・子育て世代向け住宅の提供など、生活コストを下げる施策。

## 将来性のある人材の積極的サポート

- ・若年層や子育て世代への投資を通じて、地域の持続可能性を高める。

## 大学卒業後の定着を促す施策

- ・大学生が卒業後も文京区に住み続けられるような住環境・働く場づくりや、交流支援。

## 区のビジョンの明確化

- ・「どんな人に住んでほしいのか」「地域をどうデザインしたいのか」という方向性を示すことで、共感を得やすくなる。

## 「コミュニティ」について

## 【課題（現状の問題点）】

## 地域コミュニティへの参加の乖離

- ・賃貸層が町内会に入りづらく、地縁的なつながりが希薄。
- ・現代では「住んでいる場所」でのコミュニティ参加を求めない人が多くなっている。

## 町内会費に対する不信感

- ・「徴収される時だけ請求され、用途が不明」といった声があり、町内会制度自体への疑問や不透明感がある。

## 外国人住民への包摂不足

- ・外国人住民が増加しているが、受け入れる側の地域コミュニティにその準備や仕組みが不十分。

## つながりのニーズのばらつき

- ・一部には「そもそもコミュニティを必要としていない」という層も存在し、無理な関与は求められていない。
- ・一方で、弱者や孤立しやすい人にとっては、コミュニティが生きる支えになる。

## 【魅力（ポジティブに捉えられている点）】

## 目的ベースの横のつながりへの可能性

- ・「地域」という枠組みよりも、「子どものつながり」などテーマやニーズに基づく横のつながりには関心が高い。
- ・地域コミュニティではなく“興味関心コミュニティ”としての可能性が広がっている。

## 緊急時にはつながりの必要性を感じる

- ・平時には不要でも、災害やトラブルなど非常時には、やはり地域でのつながりの重要性を感じている。

## 【アイデア（課題に対する提案・示唆）】

## 外国人も含めた多様性を前提としたコミュニティ形成

- ・国籍・文化に関係なく包摂できる、開かれた交流機会や仕組みづくり。

## ニーズに応じた柔軟なコミュニティ設計

- ・全員に強制するのではなく、「必要としている人が安心してつながれる」選択制
- ・テーマ型のコミュニティ支援。

## コミュニティ紹介・ナビゲート機能の強化

- ・区が地域コミュニティや活動団体を分かりやすく紹介し、参加の第一歩を支援する。

## 資源のシェアによる緩やかなつながり

- ・フードバンクや“地域専用の冷蔵庫”（誰でも物を出し入れできる拠点）など、自然に関わりが生まれる場の設置。

## 町内会の透明化とリデザイン

- ・町内会費の用途を明示する仕組みや、参加しやすい仕掛け（デジタル化・単発型参加の導入など）を検討。

## 「文京区の理想の未来」について

- ・ワーキングパパママを応援
- ・働きながら自己実現できる環境
- ・総合的に選ばれる区
- ・長く子どもが過ごせる場所
- ・子育てをまちづくりの軸に
- ・経済的な心配がない状態
- ・文京区にいれば「何とかなる」と思える安心感
- ・区民全体が幸せだと感じられる場所
- ・核家族が減少し、家庭の責任が重くなり過ぎない状態
- ・より広く幅広い支援・政策
- ・パートナーを見つけるための支援
- ・若者に選ばれ続ける区
- ・行き過ぎた管理やコントロールがない、自由な区

### 【配信会場の様子】

